

1 学校教育目標 「笑顔あふれる元気な学校」

< 目指す子ども像 >

思いやりのある子(にここにこ)

すすんで学ぶ子(わくわく)

たくましい子(ぐんぐん)

2 学校経営の方針(中期目標)

「自立」・「自律」・「共生」をめざし、その基礎となる力をつける

「笑顔」と「感動」と「楽しい学び」がちりばめられた学校づくり

< 視点 >

- (1) 自他の命や気持ちを大切にし、前向きで心豊かな児童を育成する。 ②
- (2) 自ら考え、自ら学ぶ態度を養うとともに、活用できる確かな学力を育成する。 ①
- (3) 挑戦したり困難を乗り越えたりする経験を通して、強くなややかな心の育成と体力の向上を図る。 ③④
- (4) 家庭・地域へ積極的に働きかけ、地域協働・家庭連携の充実を図る。 ⑥
- (5) 教師一人一人が持ち味を生かし、個に寄り添った教育活動を展開する。 ⑤⑦

3 重点努力目標(短期目標)

評価項目		重点努力目標	評価指標	学校評価アンケートにおける肯定群の割合
(1) 豊かな心	明るく活力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ」「歌声」「笑顔」の励行。 ・学級・学校目標を共有し、誰もが自分事として学級・学校づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートや掲示「美行木」の記述 ・Q-U検査の分析結果 ・学級会の内容や開催回数 ・生活アンケートへの記述内容、いじめ月例調査 ・実際の子どもの様子 	
	「共生」の意識や他者を思いやる心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の気づきや意見を大切にして共有し、互いに認め合う関係づくり。(異学年交流や児童の自発的活動を積極的に展開) ・「心に響く指導」を心掛ける。 ・心を動かす「体験」「言葉」のシャワーを浴びせる。 		
(2) 確かな学力	「感性」と「学ぼうとする力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・興味、関心、疑問、感動が生まれる「学びの場」を。 ・「体験的な学習」の重視。自ら問題を見つけ、主体的に学習に取り組めるような授業構想の工夫を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるつぶやきや発言、振り返り等の内容 ・単元末テスト、学力検査等の分析結果 ・タブレットの利用実績 ・図書室の利用状況 ・実際の授業と子どもの様子 	
	思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「聴く力」「読み取る力」を高め、本質が理解できる子どもを育てる。 ・図書・タブレットの活用 ・自分の考えをもち、その考えを他者とかわりながら再構築していく授業展開を重視する。 		
(3) たくましさ	強くしなやかな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「ピンチはチャンス」と捉え、体験から学ばせる。 ・子どもが挑戦する機会をつくりがんばりを見届ける。 ・道徳教育を充実させ、多様な考えにふれさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日記や授業の振り返り等への記述内容 ・不登校児童数 ・欠席日数 ・保健室の利用状況 	
	心身の健康の保持・増進	<ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事や授業の重点的な取り組みと外遊びの励行により、体力の向上と心の安定を図る。 ・栄養教諭を核に食育の推進。 ・不登校児童への支援 		
(4) 家庭・地域との連携	家庭とともに生活の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「自立・自律」という目標の共有と推進 ・「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「時間を守る」「約束を守る」の励行に共に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活点検「ぐんぐんカード」の分析結果 ・ホームページの更新回数およびアクセス数 ・地域教育ボランティア等の登録数および参加数 ・学校評議員からの意見や関係者評価 	
	地域と共に創る特色ある学校づくり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ホームページやお便り等を充実させ、学校の方針、子どもたちの様子などを発信する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人・もの・こと」をいかして、学校行事や授業づくりに取り組む。 		
(5) 学校(教職員集団)の教育力向上	安心安全な学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速で的確な児童支援体制の構築。 ・UDの浸透 ・ケース会議や専門性のある講師から学び、全教職員の子どもの理解、生徒指導の力量を高める。 ・研修等で教職員個々の危機管理意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートへの記述内容、いじめ月例調査 ・保健室の利用状況 ・不応児童数 	
	授業力の向上をめざした現職研修の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習(主体的・対話的で深い学び)の授業研究を通して、授業改善・授業力向上を図る。 ・子どもも教師も「楽しい」と感じる授業づくりへ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を参観したときの子どもの様子と板書 ・協議会の内容 	
	機能する組織づくりと働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学年主任を核とした体制と得意分野を生かした運営 ・行事・業務の精選と効率的な会議や委員会の運営 ・教職員の働き方に対する意識改革とマネジメント力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職との面談での内容 ・ストレスチェックの結果 ・在校等時間調査の結果 	